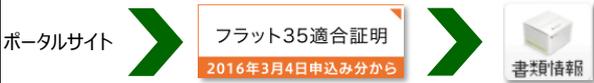
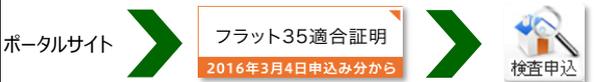


総合窓口	flat35@house-gmen.com
Tel	03-6435-6156
Mail	flat35@house-gmen.com

カテゴリ	Q	A
概要	フラット35適合証明とはどのような商品ですか。	フラット35は最長35年の全期間固定金利の住宅ローンであり、金銭消費貸借契約の際に適合証明期間が発行する適合証明書を金融機関に提出することでローンが実行できます。 当社は適合証明機関として、住宅金融支援機構の定める技術基準に基づき、物件検査(設計検査・中間検査・竣工検査)を行い、合格した物件に「適合証明書」を交付する業務を行っています。 より詳細に確認したい場合は、住宅金融支援機構のホームページを確認ください。 住宅金融支援機構のホームページはこちら
	フラット35、フラット35Sの技術基準はどこで確認できますか。	技術基準は、住宅金融支援機構のホームページでご確認いただけます。 技術基準はこちら
	フラット35地域連携型(子育て支援、地域活性化)についてはどこで確認できますか。	住宅金融支援機構のホームページでご確認いただけます。 地域連携型のページはこちら
	フラット35維持保全型についてはどこで確認できますか。	住宅金融支援機構のホームページでご確認いただけます。 維持保全型のページはこちら
	省令準耐火構造についてはどこで確認できますか。	住宅金融支援機構のホームページでご確認いただけます。 省令準耐火の基準はこちら
	中古フラットについてはどこで確認できますか。	住宅金融支援機構のホームページでご確認いただけます。 中古フラットのページはこちら
	フラット35リノベについてはどこで確認できますか。	住宅金融支援機構のホームページでご確認いただけます。 リノベのページはこちら
	フラット35子育てプラスについてはどこで確認できますか。	当社の情報サイトGMEN PRESSの記事でご確認いただけます。 ※2024/02/08時点の情報です。 GMEN PRESSの記事はこちら
	フラット50についてはどこで確認できますか。	住宅金融支援機構のホームページでご確認いただけます。 フラット50のページはこちら
	フラット35の「新築住宅」とはどのような住宅ですか。	竣工から2年以内の住宅で、人が住んだことがない住宅をいいます。 ※竣工日 = 建築基準法に規定する検査済証の交付年月日
	フラット35の「中古住宅」とはどのような住宅ですか。	竣工から2年を超えている住宅または、既に人が住んだことがある住宅をいいます。 ※竣工日 = 建築基準法に規定する検査済証の交付年月日
	竣工済特例に該当となる要件は何ですか。	フラット35の中間現場検査を実施しておらず、時期を過ぎてからの申請となる場合に竣工済特例となります。 ハウスジーメンの瑕疵保険をご利用いただいている物件については、瑕疵保険の2回目の検査を過ぎてからの申請となる場合に竣工済特例となります。
申請関連	申請書類がどこからダウンロードできますか。	住宅金融支援機構の書式ダウンロードページからダウンロードいただけます。 当社でダウンロード手順を準備しておりますので参考にしてください。 住宅金融支援機構のホームページはこちら ダウンロード手順はこちら
	追加書類はどのようにアップロードすればよいですか。	ポータルサイトにログイン後、「フラット35適合証明」をクリック、該当物件を検索していただき、「書類情報」アイコンよりアップロードください。 
	設計検査が終了した物件で、竣工現場検査を受けたい場合の申請はどのような方法で行えばよいですか。	ポータルサイトにログイン後、「フラット35適合証明」をクリック、該当物件を検索していただき、「検査申込」アイコンより検査希望日入力後、竣工現場検査申請書をアップロードすると申込完了になります。 
	MSJへの委任状の提出の可否基準は何ですか。	MSJへの委任状とは、当社グループ会社の日本モーゲージサービス(MSJ)の融資を利用する場合に適合証明書(金融機関提出用)が発行され次第、原本を事業者へ郵送せずMSJへ渡すための書類であり、利用する金融機関がMSJ以外の場合は提出不要です。
	竣工現場検査の申請時に検査済証の提出は必要ですか。	竣工現場検査の申請時には検査済証は不要です。適合証明書発行時には必要となりますので交付され次第ご提出ください。

総合窓口	flat35@house-gmen.com
Tel	03-6435-6156
Mail	flat35@house-gmen.com

カテゴリ	Q	A
申請関連	発行した適合証明書を直接金融機関へ郵送してもらうことは可能ですか。	個人情報の観点から適合書は申請者、代理人以外の第三者にお送りすることは出来ません。
	長期使用構造等確認申請と住宅かし保険をハウスジーメンに申し込む場合、適合証明の検査は省略となりますか。	長期優良住宅で設計検査、住宅かし保険の検査で中間検査が省略されますが、竣工現場検査が必要です。現場検査希望日の2週間前を目処に竣工現場検査の申請をしてください。 申請時に必要書類は、①竣工現場検査申請書、②工事内容確認チェックシート、③金利引下げ制度の対象区域に関するチェックシート、④長期優良住宅認定通知です。①②③は住宅金融支援機構のホームページからダウンロードいただけます。 住宅金融支援機構のホームページはこちら
検査関連	竣工現場検査の実施可能なタイミングとはどのような状態を示しますか。	工事が完成し居住できる状態でS基準による必要項目が確認できる状態で行います。工事が未完成で確認ができない場合は、再検査となりますのでご注意ください。
	設計検査が終了した物件で、竣工現場検査を受けたい場合の申請はどのような方法で行えばよいですか。	ポータルサイトにログイン後、「フラット35適合証明」をクリック、該当物件を検索していただき、「検査申込」アイコンより検査希望日入力後、竣工現場検査申請書をアップロードすると申込完了になります。 
審査関連	フラット35 S基準を利用しない場合でも外皮計算などの計算書の提出は必要になりますか。	フラット35 S基準の有無に関わらず「断熱性能等級4以上」かつ「一次エネルギー消費量等級4以上」の基準を満たす必要がありますので、基準を確認する為の計算書・資料・設計内容説明書のご提出が必要となります。
	フラット35 S (ZEH) 基準を申請したい場合、BELS評価書の提出は必要になりますか。	設計検査からお申込みの場合は、BELSの評価書の提出は必須ではありません。ただし、設計検査を省略される場合は、BELS評価書の提出が必須となります。
	フラット35 S ZEH Orientedで申請する際、適用条件である「都市部狭小地、多雪地域」への該当は確認しますか。	フラット35審査時には、ZEH基準の適用条件についても確認いたします。適用条件に該当しない場合はご利用ができません。BELS評価書を活用する場合についても適用条件を確認いたしますのでご注意ください。
適合証発行	適合証明書の発行には何日程度要しますか。	竣工現場検査完了後に必要な書類が揃い次第、1～2営業日中に発行し、発行当日にレターバックで郵送します。 必要書類：申請書類、現場検査調書、検査済証、(MSJ利用の場合はMSJ委任状)
	適合証明書はポータルサイトにアップロードされますか。	適合証明書(原本)はレターバックでの郵送となり、ポータルサイトにアップロードはされません。
	適合証明書の発行後、郵送前にコピーを送付してもらうことは可能ですか。	FAX・メールにて送付可能です。送付希望の旨を直接電話またはメールにてご連絡ください。 なお、金融機関への直接送付は対応できません。
	確認申請が不要の地域で、検査済証の提出ができない場合はどうすればよいですか。	工事届をご提出ください。(地名地番、延床面積の確認出来るページ)
変更	適合証明書発行後に地番が確定した際、証明書の記載の変更をすることは可能ですか。	適合証明書は検査済証と整合した地番で発行する必要があるため、確定地番に訂正した検査済証をご提出いただける場合は変更可能です。 変更が金融機関からの指示であり根拠となる資料を提出いただける場合は、検査済証の訂正が無くても変更が可能です。 いずれの場合も、面積の変更等是对応できませんのであらかじめご了承ください。
	設計検査完了後にフラット35Sの基準変更は可能ですか。	変更は可能です。 ただし、再度設計検査の必要がありますので詳しくは直接電話でご確認ください。 (中間検査のタイミングを過ぎてからの変更の場合は「竣工済特例」の扱いとなるので耐震性への基準変更はできません。)
	適合証明書発行後にフラット35Sの基準変更は可能ですか。	変更は可能です。 ただし、再度設計検査と現場検査が必要となり、基準によっては変更ができないまたは利用できない基準がありますので詳しくは直接電話でご確認ください。